



オランダ フローニンゲン大学

先を知ること

2024年8月から2025年2月にかけて、一橋大学の派遣留学制度を利用し、オランダ北部のフローニンゲン大学に留学しました。オランダで2番目に古く、規模も大きい大学であり、文理様々な学問が提供されています。

留学の意義と理由

東南アジアに滞在していたこともあり、一橋大学入学当初から欧米への留学を考えていました。GLPへの参加も海外留学を見越して準備を1年からしていました。2年の夏休みを過ぎたころに専攻や留学先を考えるようになり、環境経済系の分野に絞ったことから、最先端は欧州だろ！の少し脳筋的な考えで欧州への留学を決めました。一橋大学の欧州留学の候補は多く悩みはしたのですが、オランダがEUの中でも環境を意識したスタンスを取っていること、フローニンゲン大学では持続可能な社会の分野に力を入れていること、経済学



フローニンゲン市中心部にあるフローニンゲン大学
Academy Building[著者撮影]

部が強く、環境経済系の科目が多いことなどの理由で選びました。

実際に、一橋大学よりもはるかに多い持続可能な社会に関連した経済や商学の科目が多く、履修選択にも頭を悩ませることになりました(笑)。グループワークを通じて、現地の学生はもちろん、国際色豊かな学生の皆さんと勉学を深めることができたのは良い思い出です。実際に企業が出しているレポートをもとに各産業や企業ごとの持続可能への取り組みについて調べ、考察をしていくといったワークがありました。理論的な環境経済学の内容を講義する科目もあれば、このように実社会と結び付けて学んでいく科目もありました。持続可能への取り組みが進んでいる企業が多いからこそ、こうした実社会との関連性などを学び、考えながら、それぞれが研究や社会に出た時に活かしているのではと考えました。実際に日本よりも先を行っているからこそわかる政策などの問題なども知ることができたのは、最先端に行く国や大学への留学の意義なのではないでしょうか。



運河[著者撮影]

Where is フローニンゲン？

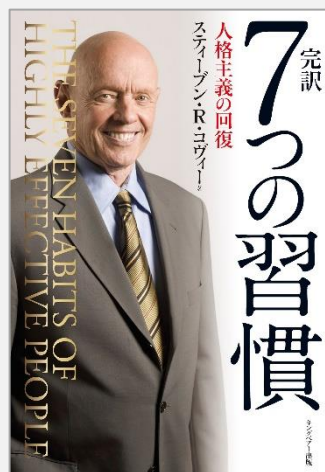


フローニンゲン駅[著者撮影]

オランダはEUに所属する立憲君主制の国であり、フローニンゲン大学はその北部に所在しています。アムステルダム空港から列車で約2時間半で、秋から冬にかけては晴れの日が少なく、日が短いのが特徴です。フローニンゲンの治安は比較的良い方で、学生も多く住んでいるため、若い人が多い町であるという特徴もあります。フローニンゲンを北に自転車で2時間行くと一時期流行ったアザラシ幼稚園*があります。

*旧ピータービューレンアザラシセンター。現在はワッデン海世界遺産センターの一部に移転済 (WEC, The leading seal hospital in Europe, <https://ontdekweec.nl/en/seal/>, last visited June 12, 2025)

オ ス ス メ の 一 冊



完訳7つの習慣：人格主義の回復
スティーブン・R・コヴィー著；フランクリン・コヴィー・
ジャパン訳

(キングベアー出版, 2013年)

【請求記号】1500:390

世界中でヒットした本。人生で成功を収めるためには、自分自身の土台・「人格」を確立させないといけない、そのための習慣を教えてくれる本。大学生活という長期の間も、留学という比較的短い間も意識しながら生活をしていた、自分にとっての指針の本。

執 筆 者 紹 介

小俣 智士

経済学部・GLP／4年

所属団体：体育会ゴルフ部

中高を東南アジアで過ごし一橋大学に入学、ゴルフは大学から始めた。横尾ゼミに所属し環境経済学を勉強中。

